

# 品質管理全般

(品質経営／TQM／階層・部門／国際関係など)

顧客価値の創造、価値を実現するイノベーション

企業役員のみならず、品質経営・TQMの概論、品質経営の効果と実践ノウハウ、経営トップの役割などを、大学関係者によるわかりやすい講義と、品質経営の実践企業トップ層による事例を通して学んでいただけます。品質経営・TQMの「導入・推進・レベルアップ」「担当役員への就任にともなう基礎知識の習得」「他社役員との情報交換」に最適のセミナーです。

特徴

- 経営の道具としての品質経営・TQMの基礎や活用などを、経験豊富な講師が指導します。
- 品質経営・TQMの実践企業トップからの実践事例紹介により、トップとしての心がまえ、とるべき行動、判断等を理解・習得できます。
- 情報交換会などを通し、他の参加者と情報交流をはかれます。

[過去の講演企業] \*デミング賞、デミング賞大賞受賞企業

2017年 丸和電子化学株\*、TOTO株\*、トヨタ自動車株\*、トヨタ自動車九州株\*、株小松製作所\*

2016年 株キャタラー\*、トヨタ自動車株\*、三島食品株、株GSユアサ\*、株小松製作所\*、株安川電機\*

2015年 株セキソー\*、コニカミノルタ株\*、株小松製作所\*、株メイドー\*、マツダ株、ダイキン工業株

**対象** 取締役、執行役員もしくはそれに準ずる方

**会場** セミナーハウス・フォーリッジ (東京都世田谷区船橋)

**講師** 大学・産業界の経験豊富な講師が指導にあたります

**参加費** 199,800円(一般) / 178,200円(会員)  
\*宿泊代(シングル)、食事代、テキスト資料代などを含む。  
\*前泊(オプション)については別途お問い合わせください。

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後	夜
第1日 10:00～21:00	講義1：品質経営概論	講演1・2：実践企業事例	夕食懇談会、グループ討論 情報交換会
第2日 9:00～16:00	講演3：実践企業事例 講義2：品質経営の実践	まとめ・Q&A	

回数	日程
1	7月
2	2月

\*日程は決まり次第webページへ掲載します。

\*各講演テーマは、講演者が決定してから確定します。

TQM セミナー入門コース

TQMの基本的な概念、しくみ、進め方が習得できます！

「顧客の求める品質」を基軸に、品質の維持・改善や技術の向上、顧客満足などを、企業の体質改善・人材育成などを通して実現する取り組みである「TQM (Total Quality Management: 全社品質管理)」。そのTQMの「基本的な考え方」「企業における役割・効果」から、中核となる「品質と管理」「改善活動」「導入・推進のノウハウ」などについて学んでいただけます。TQMの導入や活性化を検討されている企業の方や、マネージャーの基礎知識として習得したい方などにおすすめです。

特徴

- “TQMの概要”や“顧客満足の考え方”などについて、基礎から学べます。
- “改善活動”や“管理”の考え方・進め方、部・課などの“部署単位でのTQMの推進のしかた”を学べます。
- TQM実践企業(デミング賞・日本品質奨励賞受賞企業)の推進担当者より、TQM導入・推進の事例(2件)をお聴きいただけます。

[過去の講演企業例] \*デミング賞受賞企業

2017年 トヨタ自動車九州株\*、太陽工業株

2016年 株GSユアサ\*、株マルヤスエンジニアリング

**対象** TQM導入を検討中または、導入後の企業の経営幹部、部課長、スタッフ

**会場** 東京・日科技連 東高円寺ビル

**講師** 斯界の経験豊富な講師が指導にあたります

**参加費** 77,760円(一般) / 68,040円(会員)

カリキュラム～3日間コース

	午前	午後
第1日 9:20～18:30	経営におけるTQMの役割	顧客満足・品質保証と品質の考え方 TQM実践事例の紹介(全社推進事例)
第2日 9:30～18:15	TQMにおける改善活動(1) —何を改善するか(事例に学ぶ)—	TQMにおける改善活動(2) —改善活動の進め方(課題の構造化)— TQM実践事例の紹介(部門推進事例)
第3日 9:30～16:30	管理の考え方と進め方	部課におけるTQMの進め方 総合質疑

回数	日程
1	7月17日(火)～19日(木)
2	1月29日(火)～31日(木)

マネージャーの問題解決力、課題形成・達成力を実践的に向上させます！

マネージャーに必須となる「問題の発見と解決」「課題の形成と達成」の実践能力を短期間で養成します。「講義」によるマネジメントの基本や方針管理・日常管理、問題解決・課題達成の基本の理解、「ケーススタディ」による実施ノウハウの習得、「グループ研究」での自己テーマ（守秘誓約による情報保護あり）での実践指導とアフターフォロー、といったプログラムにより「問題解決・課題達成」の実践能力を確実に身につけることができます。

## 特徴

- マネージャーの行動の基本となるマネジメント（管理）の基本をしっかり理解、認識していただきます。
- 参加者自らの問題・課題を明確化し、解決するための手順やポイントを実践事例を踏まえながら、ていねいに解説します。
- 「問題解決・課題達成のグループ研究」では、自ら設定した問題・課題のテーマについて、経験豊富な講師陣が個別指導の時間を十分とって、きめ細かい指導にあたり、真の問題解決力、課題形成力、課題達成力を養成します。
- 異業種交流の場としても、ご活用いただけます。

**対象** 全社・全部門のマネージャー

**会場** 東京・日科技連 東高円寺ビル

**講師** 多数の斯界の経験豊富な講師が指導にあたります

**参加費** 96,120円（一般）／ 86,400円（会員）

## カリキュラム～3日間コース（前期2日間・後期1日）

前期	第1日 9:20～19:00	【講義】顧客満足向上への品質保証 経営目標を達成するための方針管理 業務目的を効率的に達成するための日常管理 【グループワーク】 【参加者交流会】
	第2日 9:30～17:00	【講義】マネージャーとしての問題解決力 課題形成・達成力の向上 【ケーススタディ】
後期	第3日 9:30～16:30	【問題解決・課題達成のグループ研究】

回数	日程
1	前期 6月13日(水)～14日(木)
	後期 8月30日(木)
2	前期 10月17日(水)～18日(木)
	後期 12月13日(木)

# 品質管理セミナー部課長コース

企業内のすべての活動は、経営に貢献するものでなければなりません。そして、部課長は組織活動の中核として、重要な役割と責務を担っています。

当セミナーでは、「組織活動の問題点」「経営に貢献する活動のあり方」「部課長の果たすべき役割とあるべき姿」などについて、今の企業や組織で「理解されていないこと」「できていないこと」などを重点的に指導し、問題解決をはかるために必要な能力を身につけていただくことを目的にしています。

## 特徴

- 部課長としての考え方とあり方を理解してもらい、必要な管理知識を身につけていただきます。
- 講義およびグループディスカッションを通じて、実践力と推進力が養えます。
- 異業種の方々と交流することによって、情報交換やベンチマーキングなど、他社から多くのことを学べます。

**対象** 全社・全部門の部長および課長クラスの方

**会場** 大阪・日科技連 大阪事務所

**講師** 経験豊富な講師が指導にあたります

**参加費** 170,640円（一般）／ 138,240円（会員）

## カリキュラム～6日間コース（2日間×3ヵ月）

		午前	午後
第1月	第1日 9:15～17:30	TQM活動の基本と関連する活動の位置づけ	組織管理と部課長の役割 懇親会
	第2日 9:30～17:00	人材育成の重要性と進め方	GD(1) 部課長の役割と現状の問題
第2月	第3日 9:30～17:00	日常管理の基本と進め方	日常管理の基本と進め方 方針管理の基本と進め方
	第4日 9:30～17:00	方針管理の基本と進め方	GD(2) 方針管理活動の進め方(事例演習)
第3月	第5日 9:30～17:00	経営に貢献するQCサークル活動	品質マネジメントシステムの有効活用
	第6日 9:30～17:00	品質保証活動の基本と進め方	品質保証活動の基本と進め方 質疑応答

回数	日程
1	第1月 8月28日(火)～29日(水)
	第2月 9月27日(木)～28日(金)
	第3月 10月23日(火)～24日(水)

現場の中核となる係長・主任（監督職）の方々を対象に、現場をマネジメントするために必要とされる①品質管理・品質保証 ②標準化の進め方と日常業務の安定化 ③問題解決 の3点を基軸として、講義とグループディスカッション（GD）を通じた基礎知識の習得と、職場の問題を実習する「個人テーマ改善」による実践能力の習得を目的としたセミナーです。

特徴

- 係長・主任（監督職）として現場マネジメントに必要な知識・能力を習得できます。
- 講義・GD・個人テーマ改善により、基礎知識から実践まで習得できます。
- GDにより、異業種交流ができます。

対象

係長・主任およびリーダー・職組長など、監督者およびその候補の方

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル  
大阪・日科技連 大阪事務所

講師

斯界の経験豊富な講師が指導にあたります

参加費

77,760円（一般）／ 68,040円（会員）

カリキュラム～3日間コース（前期2日間・後期1日）

		午前	午後	回数	日程	会場
前期	第1日 9:20～17:45	講義：品質保証と品質管理	講義：問題解決1 GD：問題解決1（原因分析）	1	前期 8月23日（木）～24日（金）	東京
	第2日 9:30～17:00	講義：問題解決2	GD：問題解決2（対策立案） 事例紹介と個人テーマ改善 オリエンテーション		後期 9月28日（金）	
後期	第3日 9:30～17:00	講義：標準化の進め方と日常業務の安定化	GD：個人テーマ改善 職場での活用	2	前期 11月1日（木）～2日（金）	大阪
					後期 12月7日（金）	

部課長のための方針管理・日常管理セミナー

日本品質管理学会規格準拠

TQMにおけるコアツールである方針管理・日常管理を有効に運用するためのノウハウを習得いただけるコースです。

方針管理は日常管理のベースの上で、はじめてその効果をいかんなく発揮しますが、そのためには、それぞれの特徴と違いを理解し、切り分けて運用されなければなりません。

方針管理・日常管理について「社内での推進・定着について学びたい」「より効果的な実施・活用法を学びたい」という方におすすめです。講義と演習を交えたカリキュラムにより、知識と実践の両面から学んでいただけます。

特徴

- 日本品質管理学会で制定された「日常管理の指針」「方針管理の指針」の規格に準拠したコースです。
- 方針管理と日常管理の使い分けを正しく理解できます。
- TQMを効果的に進めるうえでの方針管理・日常管理の重要性が理解できます。
- 講師のこれまでの指導経験から、正しく運用できている企業の事例、誤った運用をしている企業の事例を交え、実務的な講義を行います。
- 他企業の方々と演習を通して情報交換がはかれます。

対象

方針管理・日常管理の導入・推進・定着をめざしている企業の課長職以上の方、方針管理・日常管理の推進事務局担当の方

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル  
大阪・日科技連 大阪事務所

講師

斯界の経験豊富な講師が指導にあたります

参加費

72,360円（一般）／ 64,800円（会員）

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後	回数	日程	会場	
第1日 9:20～17:00	日常管理と方針管理 そのTQMにおける位置づけ 日常管理の基本	日常管理の進め方 [演習] 異常の発見とその発生時の対応 宿題の説明 (①原因追求、②年度末の反省)	1	7月5日（木）～6日（金）	大阪	
第2日 9:30～17:00	1日目の復習・宿題①原因追求 方針管理の基本 方針管理のプロセス 方針管理の進め方	方針管理の実施とその管理 [演習] 方針実施段階での演習 宿題②年度末の反省 期末のレビュー 組織全体の方針管理の進め方 方針管理の推進 総合質疑・まとめ	2	10月1日（月）～2日（火）		東京
			3	2月13日（水）～14日（木）		

モデル作業の標準化を通じてものづくり現場の管理監督者の役割とあるべき姿を学ぶ

現場の作業者がスムーズに工程に入って作業を進めるには、作業の標準化と、管理監督者の指導が重要です。当セミナーでは、演習で“組立キット”を活用しながら、工程設計→試作→作業標準書の作成&改訂→作業指導のあり方まで、ものづくりの基本が習得できます。「作業者にとってわかりやすく、指導者にとって教えやすい作業標準書はどうあるべきか」を常に考え、メンバー同士のディスカッションの中から答えを見つけていただきます。当セミナーで、「究極の標準化はどうあるべきか」を見出してください。

特 徴

- ポイントを押さえたわかりやすい講義と、業種・業態の異なるメンバーで編成されるグループ演習を通して、実際に作業を進めながら学ぶことができ、参加者自身の気づきを促します。
- 苦手な部下指導がマスターできます。
- 学んだことを自職場に持ち帰り、すぐに活用できるようになります。
- ものづくりの基本を学び直したい方、現在お使いの作業標準書を見直したい方におすすめです。

対 象

製造現場の管理者、監督者、リーダーなど部下をお持ちの方

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

実践・指導経験豊富な講師が指導にあたります

参 加 費

52,920円(一般) / 45,360円(会員)

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日 9:30～17:30	講義：ものづくりの基本 演習：モデル作業の標準化	演習：モデル作業の標準化(続き)
第2日 9:30～17:00	演習：短期間で一人前にする訓練法	演習：短期間で一人前にする訓練法 総合ディスカッション(まとめ)

回数	日程
1	11月14日(水)～15日(木)

「トヨタ流・自工程完結」シリーズセミナー：やり直しを無くしモチベーションがあがる仕事の進め方 (自工程)

共催：一般社団法人中部品質管理協会

「段取り」を重視した、質の高い仕事をするための考え方

トヨタ自動車の佐々木眞一顧問・技監による監修のもと、社内で行っている仕事の進め方「自工程完結」をわかりやすく、業務の「段取り」をテーマに実践的に解説するセミナーです。

仕事を定義していくうえで重要となるのは、「確認する作業」と「決定する作業」の連鎖を明確にし、ゴールから遡って手順を作成することです。そして、その手順に従い仕事を進め、自分の仕事が正しいのか、そうでないかを判断しながら遂行できるようにします。「品質は工程で造りこむ」ということをキャッチフレーズではなく、実践していくためにも上手に準備し、確実な作業を行っていくことが必要となります。

以下のような経験がある方は、ぜひ受講をご検討ください。

- 同じ失敗を繰り返してしまう。
- 資料の作り直しが多い。
- 無駄な会議が多いと思っている。
- 担当が変わる度に、最初から学ばなければならない。
- 「この仕事」は「あの人」がいないとわからない。

特 徴

- トヨタ自動車で活用しています。
- トヨタ自動車従業員(または認定講師)が「トヨタ流」を伝承します。
- 受講後、自身の業務にすぐ役立ちます。

対 象

自工程完結の概念、手順を学びたいすべての方

会 場

東京・日科技連

講 師

トヨタ自動車(株) 認定講師

参 加 費

37,152円(一般) / 31,860円(会員)

カリキュラム～1日コース 9:30～17:00

- ・自工程完結とは何か
- ・自工程完結の考え方(PDCA)
  - ①「段取りをする」とは ②確実に実行するために ③段取りを振り返る ④知見を伝承する
- ・自身の業務への活用

回数	日程
1	6月7日(木)
2	9月25日(火)
3	12月7日(金)
4	2月5日(火)

共催：一般社団法人中部品質管理協会

見えている問題への対策や単なるチェック項目の追加を再発防止としていませんか？

トヨタ自動車の佐々木真一顧問・技監による監修のもと、トヨタ自動車に取り組んでいる仕事のメカニズムを追求することによる効果的な再発防止の進め方と推進部署に求められる再発防止の視点について、演習を交え習得します。

見えている問題への対策や単なるチェック項目の追加を「再発防止」としていませんか？

製造、設計・開発の現場で日々問題を抱えている方々におすすめのセミナーです。

## 特 徴

- トヨタ自動車で活用している仕事の進め方です。
- トヨタ自動車で多くの指導経験を持つOBが「トヨタ流」を伝授します。
- 自身の業務で、すぐに役立つ内容です。

対 象 「トヨタ流 再発防止」を学びたいすべての方々

会 場 東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師 トヨタ自動車(株) 認定講師

参 加 費 37,152円(一般) / 31,860円(会員)

## カリキュラム～1日コース 9:30～17:00

1. はじめに～再発防止の位置づけ～
2. 何が問題か？
3. 不具合対策と再発防止
4. 仕事のメカニズム
5. 再発防止の基本
6. 再発防止事例
7. 推進部署による再発防止手順
8. 共有化と標準化
9. まとめ～自工程完結と再発防止の関係～

回数	日程
1	7月9日(月)
2	1月31日(木)

共催：一般社団法人中部品質管理協会

ムダを減らし、失敗の繰り返しを防止しよう

トヨタ自動車の佐々木真一顧問・技監による監修のもと、トヨタ自動車に取り組んでいる自工程完結の考え方を活かした「プロセス改善」を通じて、より良い仕事の進め方を習得します。自工程完結の考え方を活かした業務の失敗に対する改善策についての講義から、自職場での実践方法を習得します。

業務に失敗したら、きちんと改善ができていますか？

「業務手順の見える化ができない」

「改善の視点がわからない」

「改善をしたら工数が増えた」

→その結果、同じ失敗の繰り返しになっていませんか！

## 特 徴

- トヨタ自動車で活用している仕事の進め方です。
- トヨタ自動車従業員(または認定講師)が「トヨタ流」を伝授します。
- 自身の業務で、すぐに役立つ内容です。
- 受講後、自身の業務で推進時の困り事相談無料サービス付きです。

対 象 自工程完結の考え方を活かした「トヨタ流プロセス改善」を学びたいすべての方々

会 場 東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師 トヨタ自動車(株) 認定講師

参 加 費 37,152円(一般) / 31,860円(会員)

## カリキュラム～1日コース 9:30～17:00

1. ムダや気遣い作業をなくすために
  - ① プロセスの見える化
  - ② 攻め所の特定と対策立案、攻め所を見つける7つの視点
  - ③ 演習を通して、確実に理解する
  - ④ 役に立つツールのご紹介
2. 同じ失敗を繰り返さないために
  - ① プロセスを細分化し原因と発生箇所を特定
  - ② 「攻め所→原因→対策」と考える
  - ③ 同じ失敗を二度と起こさないためには
  - ④ 原因箇所と流出箇所とは
  - ⑤ 「発生させない対策」のポイント
  - ⑥ さらに先手を打つために
  - ⑦ 演習を通して、確実に理解する

回数	日程
1	9月3日(月)
2	3月11日(月)

伝わる「言葉」で効率向上！トラブル解消！

仕事の中で「報告書で部下が何を言いたいかわからなくて困った」「お客様との言葉の解釈の違いが、後でトラブルになった」というような経験はないでしょうか？日本語には「あいまいな」表現が多いことに加え、メール等の「顔を合わせないコミュニケーション」が増加した結果、「言いたいことが伝わらない・伝えられない」といったことが増え、それが仕事のトラブルに結びついています。

当セミナーは、日常業務で使っている「言葉」に改めて着目し、論理的な思考能力・論理的な伝達力を養成することで、コミュニケーションや業務の効率を向上させることを目的としています。

特 徴

- つい「当たり前」でつまされてしまう日本語のしくみ・用法を見直し、実務に必要な要件が確実に伝達できるよう、論理的な言葉の組み立て方・伝達の仕方と、そのために必要な論理的な考え方を習得していただけます。
- 1日で、必要な内容をコンパクトに学んでいただけます。
- 指導講師に濱口哲也氏（東京大学大学院 特任教授／「失敗学と創造学セミナー」指導講師）を迎え、「論理・理屈だけではなく、多くの場を想定したケーススタディにより実際の仕事に役立つ実践的なセミナー」として企画しています。

対 象	すべての業種・部門・階層の方
会 場	東京・日科技連 大阪・日科技連 大阪事務所
講 師	濱口哲也（東京大学大学院）
参 加 費	37,800円（一般）／ 32,400円（会員）

カリキュラム～1日コース 9:20～17:00

午前	午後	回数	日程	会場
Lesson 0：目的と背景 －社内のすべての文章には論理性が必要である	Lesson 3：文章 －文を論理的に接続し、意味を正しく導く	1	6月28日(木)	東京
Lesson 1：単語 －少しの違いが概念まで壊してしまう	Lesson 4：論旨 －最初から最後まで素直に読めるようにする	2	8月28日(火)	
Lesson 2：文 －単語と単語の関係を正しく築く	Lesson 5：より伝わりやすい文章を書くために *各講義にはケーススタディを含みます	3	10月24日(水)	
		4	11月27日(火)	大阪
		5	2月19日(火)	東京

組織力向上のためのリーダーシップ・マネジメントセミナー

「失敗学」「伝達力」の濱口哲也氏がすべてのリーダー・マネージャーに贈るセミナー！

近年、リーダーシップやマネジメントが形骸化・マニュアル化し、仕事の設計も想定も創造もできない「定形型人材」が増えていると言われています。しかし、精神論ベースのリーダーシップ研修では、その「悪さ」が見えないため、根本を変えることができません。

当セミナーでは、定形型人材の増えた背景と原因を論理的に解き明かし、そこからリーダーに必要なこと（考え方、行動）を3つの視点から導き出します。聞く人が納得することが、明日のリーダーの行動を変える一番の特効薬となります。

特 徴

- 「リーダーとは斯くあるべし」から入るのではなく、リーダーシップやマネジメントについて論理的に「現状」「悪さ」「対応策」を解説します。
- 定形型人材から脱し、真のリーダーになるための目の付け所、行動原理を「主導者」「教育者」「上司」の視点で学んでいただけます。
- 半日セミナーですので、お気軽にご参加いただけます。

対 象	製造業・サービス業を問わず、すべてのリーダー・マネージャーの方々
会 場	東京・日科技連 東高円寺ビル
講 師	濱口哲也（東京大学大学院）
参 加 費	29,160円（一般）／ 23,760円（会員）

カリキュラム～半日コース

1. いま、日本で何がおこっているか？  
(リーダーシップ、マネジメントの問題点)
2. これからのリーダーに求められること

回数	日程
1	5月29日(火)
2	10月23日(火)

人材(社員)が企業にとって最も大切な経営資源であることは周知の事実ですが、実際の管理状況を見ると次のような問題が目につきます。

- ・能力管理は行っているが、抽象的な評価基準や主観的な評価が多く、適切な評価・管理が行われていない。
- ・能力管理を実際の業務運営に役立てることができず、形式的なものになっている。
- ・ISOでスキルマップや能力一覧表などを作って能力管理を行っているが、形だけで実際の仕事には役立っていない。

社員の能力管理は全社的な人事管理システムの一環であり、教育・訓練とも密接に繋がっています。

当セミナーでは、形式的ではなく、本当に効果のある能力管理と人事を行うための活動のあり方と進め方を解説します。

特 徴

- 能力管理～教育・訓練～人員配置までの一貫した管理システムのあり方と作り方、活動の進め方を基本からていねいに解説します。
- 効果的な人材育成のあり方を、実施事例を紹介しながらわかりやすく指導します。

回数	日程
1	10月30日(火)

対 象	総務・人事担当スタッフ、ISO推進事務局、企業経営者、品質管理スタッフ、部門管理・監督者など人材育成、社員教育、人事管理活動などに携わる方
会 場	大阪・日科技連 大阪事務所
講 師	西口幸雄(HBIコンサルタント事務所)
参 加 費	29,160円(一般) / 23,760円(会員)

カリキュラム～1日コース 9:50～17:00

午前	午後
1. 能力管理の基本的なあり方 2. キャリアマップの作成 キャリアマップとは/キャリアマップの作成 3. 能力要件一覧表の作成 能力要件一覧表とは/能力要件一覧表の作り方	4. 教育・訓練体系の構築と運用 能力管理の基本/教育・訓練教材の作成と指導者の育成/ 教育・訓練体系の構築と運用のポイントと注意点 5. 計画的な人材育成のやり方 社員のキャリアプラン/部門の人材育成と教育・訓練/ 人材育成のポイントと注意点 6. 総合的能力管理システムの運用上の課題/部門間の社員の異動について/ 管理者の人事異動について/組織上の職位と能力レベルの関係/ 途中入社者の処遇/経験年数の取り扱い/給与と能力管理の繋がり/ 外部からの出向者への対応/システムの有効活用

英語で日本の品質管理を学ぶ

英語で日本のTQM活動を理解していただくためのコースです。英語でTQM活動を学ぶことができるので、海外現地工場や事業所に赴任され、日本の品質管理の考え方やTQM活動を導入、推進する立場の方にも有効です。コースは第1回は4日間のセミナーと3日間の企業訪問を合わせ、合計7日間の日程で、第2回は3日間のセミナーと2日間の企業訪問を合わせ、合計5日間の日程で開催します。

特 徴

- 品質至上で世界の品質管理のリーダーシップをとってきた日本の品質管理の基本概念を習得できます。
- 講義を通じて方針管理と日常管理の実際の進め方を把握できます。
- デミング賞受賞企業などの優良企業を訪問し、TQM活動推進の実状をご覧いただけます。

対 象	国際企業(日本在住の国際企業の方を含む)、日系企業海外現地法人の経営者、管理者など
会 場	セミナー：東京・日科技連 企業訪問：東京・名古屋・関西地区
講 師	海外企業の指導経験が豊富な講師をはじめ、デミング賞委員、受賞企業の経営幹部、TQM推進担当者が指導にあたります

\*参加費他詳細はWebページへ掲載します。  
Web ページ(英語) <http://www.juse.or.jp/english/>

回数	日程
1	7月2日(月)～10日(火)
2	12月3日(月)～7日(金)